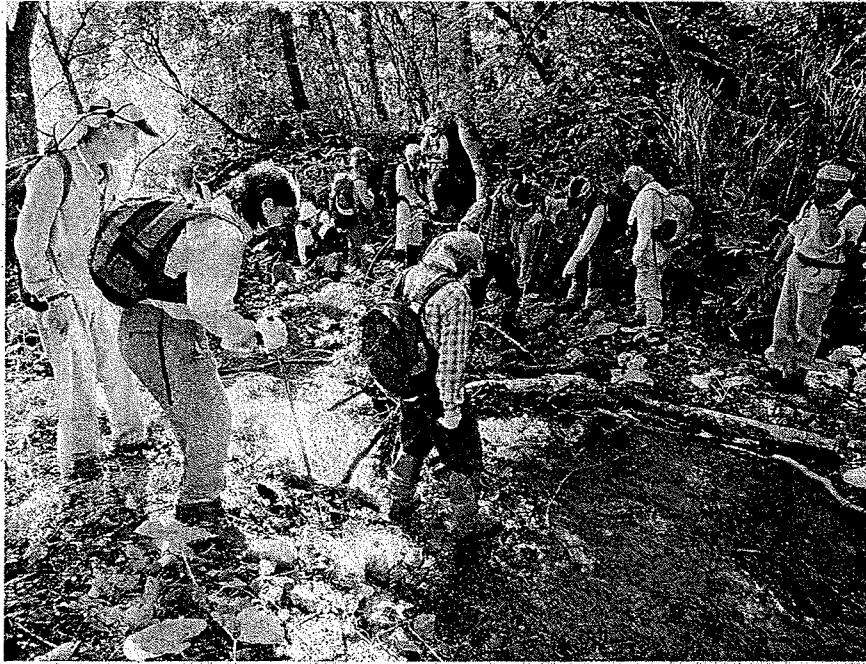


江戸時代の交易路「増毛山道」

復元路トレッキング人気



20日の体験トレッキングで、増毛山道を散策する参加者たち

【増毛】江戸時代の交易路「増毛山道」(増毛町別刈一石狩市浜益区幌間の約27キロ)の復元ルートを歩く体験トレッキングが人気を集めている。7～10月に毎月1回開催しているが、9月分も定員がいっぱいに。山道を復元した市民グループによるガイドも好評で、今後は「標識」を設置するなど山道の整備をさらに進める考えだ。(東久保逸夫)

月1回、定員いっぱい 副読本、ガイドも好評

体験トレッキングは、度までの番号札をつき、歩く際の「標識」の代わりにもなる。幌市や留萌市などから20人の定員を越す応募があった。同会の小杉忠利事務局長は「どんなプランで参加者を満足させるかが今後のテーマ。完全な一般開放には課題も残るが、実績を残すことをまず優先したい」と話す。

参加者に山道の歴史などを記した同会作製の副読本を配布。8月からは副読本の内容をテープに吹き込んでトレッキング中に流すなど工夫も凝らした。初回は復元ルート(増毛町別刈一岩尾間の約16キロ)すべてを約10時間掛けて歩いたが、2回目は途中の林道から入る約10キロのコースに短縮。その分、交通の要所だった駅通など、道中の歴史や景観の説明に時間を割いた。

今後は山道脇の樹木に1番から100番程